

■ はじめに

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。この法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすため「平成 29 年度多治見市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を実施し報告します。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

＜点検及び評価の方法＞ ～多治見市教育行政評価委員会設置要綱～

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施するため、多治見市教育行政評価委員会を置いています。教育について優れた見識を有する方に委員の委嘱をし、次に掲げる事項について所掌いただいています。

- （1）点検及び評価の実施に関すること。
- （2）その他点検及び評価を実施するために必要な事項に関すること。

＜教育行政評価委員会委員（敬称略）＞（平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月）

氏 名	職 業	備 考
南部 初世	大学教授	委員長
前田 稔子	元社会福祉協議会理事	
松原 信継	大学教授	
武笠 正治	北栄小学校コミュニティスクール会長	副委員長
矢沢 義幸	会社役員、市 P T A 連合会顧問	

■ 第1章 教育委員会の運営について

教育委員会では、毎月 1 回の定例会議を開催し付議事件を審議・議決してきました。

また、必要に応じて委員会終了後に協議会を開催し、教育に関する諸問題について、関係者からの意見聴取や質疑応答を行いながら、子どもを取り巻くさまざまな問題の現状を把握し、対応の方向性等を検討しました。平成 29 年度の開催状況等は次のとおりです。

1 教育委員会会議開催状況（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

- (1) 開催日数 会議開催 13 日
- (2) 付議事件数 72 件
- (3) 議決事件数 48 件
- (4) 報告事件数 24 件

※詳細は次ページ表を参照

2 主な行事（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

- (1) 校長会、教頭会、教務主任会において毎月 1 回、教育委員会事務局からの指導、伝達、協議、情報交換等を実施しました。
- (2) 教育長訪問として公立の全小中学校、幼稚園・保育園を年 1 回訪問し、状況の把握と指導を実施しました。
- (3) 平成 21 年度から多治見市 PTA 連合会と定期的に意見交換会を実施しており、平成 29 年度は 1 回行いました。
- (4) 先進地視察として、平成 29 年 7 月に大阪府箕面市を訪問しました。

※視察内容 特別支援教育について

<多治見市教育委員会委員（敬称略）>

平成 30 年 3 月現在

職名	氏名	任期	備考
委員長 (教育長)	渡邊 哲郎	平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 32 年 9 月 30 日	2 期目 H25.10.1～
委員(委員長 職務代理者)	前田 市朗	平成 27 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 9 月 30 日	1 期目 H27.10.1～
委員	中澤 香代	平成 26 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日	1 期目 H26.10.1～
委員	木下 貴子	平成 28 年 10 月 1 日～ 平成 32 年 9 月 30 日	1 期目 H28.10.1～
委員	大嶽 和好	平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 33 年 9 月 30 日	1 期目 H29.10.1～

平成29年度 多治見市教育委員会付議事件一覧

回	開催年月日	報 議	件 名	所管課
5	H29. 4. 24	1	多治見市立小中学校の教務主任等の承認について	教育推進課
		2	多治見市児童生徒結核対策委員会委員の報告について	教育推進課
		3	多治見市学校給食運営委員会委員（補欠委員）の報告について	教育総務課
		4	多治見市学校給食アレルギー対応検討委員会委員（補欠委員）の報告について	教育総務課
		5	学校運営協議会委員の報告について	教育推進課
		22	平成 2 9 年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置等について	教育推進課
		23	多治見市奨学資金貸付規則による平成29年度奨学生の決定について	教育総務課
6	H29. 5. 22	6	多治見市子どもの体力向上推進委員会委員の報告について	教育研究所
		7	多治見市インクルーシブ教育（支援児包容教育）推進委員会委員の報告について	教育推進課
		8	多治見市教育基本計画策定市民委員会委員の報告について	教育推進課
		24	多治見市就学等支援委員会委員の委嘱又は任命について	教育相談室
		25	多治見市文化財の指定について（無形文化財白天目）	文化財保護センター
		26	北小木のホタルの保護に関する協定書の変更について	文化財保護センター
		27	平成29年度多治見市一般会計補正予算（第1号）のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
7	H29. 6. 26	9	多治見市通学路安全推進協議会委員の委嘱について	教育推進課
		10	多治見市学校給食運営委員会委員の委嘱について	教育総務課
		11	工事請負契約の締結について（昭和小学校近接校対応調理場機械設備等工事）	教育総務課
		12	工事請負契約の締結について（昭和小学校近接校対応調理場建築工事）	教育総務課
		28	多治見市立小学校及び中学校通学区区域審議会委員の委嘱又は任命について	教育推進課
8	H29. 7. 21	29	多治見市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について	教育総務課
		30	平成28年度多治見市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について	教育推進課
		31	平成30年度使用教科用図書の採択について	教育推進課
9	H28. 8. 25	13	多治見市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて	人事課
		14	多治見市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するについて	人事課
		15	多治見市職員退職手当に関する条例の一部を改正するについて	人事課
		16	平成29年度多治見市一般会計補正予算（第 3 号）のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
		17	平成28年度多治見市一般会計歳入歳出決算のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
		18	多治見市教育委員会教育長の任命について	教育総務課
		19	多治見市教育委員会委員の任命について	教育総務課
		32	多治見市立学校における学校運営協議会設置等に関する規則の一部を改正するについて	教育推進課

回	開催年月日	報 議	件 名	所管課
10	H29. 9. 22	33	多治見市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正するについて	教育総務課
		34	多治見市陶磁器等資料収集鑑査委員会の委員について	文化財保護センター
		35	市指定文化財名称の変更について	文化財保護センター
11	H29. 10. 22	20	小泉小学校施設整備基本方針の策定について	教育総務課
12	H29. 11. 14	36	多治見市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正するについて	人事課
		37	多治見市職員の給与に関する条例等の一部を改正するについて	人事課
		38	多治見市奨学基金条例の一部を改正するについて	教育総務課
		39	平成29年度多治見市一般会計補正予算（第6号）のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
		40	第7次多治見市総合計画基本計画を変更するについて	教育総務課
13	H29. 12. 26	41	平成30年度の夏季休業日の終了日について	教育推進課
		42	多治見市立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正するについて	教育推進課
		43	多治見市たじっこクラブ利用に係る苦情等の対応と解決に関する規則を制定するについて	教育推進課
		44	多治見市たじっこクラブの実施に関する条例施行規則の一部を改正するについて	教育推進課
		45	多治見市大学奨学資金給付規則を制定するについて	教育総務課
		46	多治見市高等学校等入学準備資金給付規則を制定するについて	教育総務課
		47	教育長に対する事務委任規則等の一部を改正するについて	教育総務課
		21	工事請負契約の締結について（精華小学校附属愛児幼稚園建築工事）	子ども支援課
1	H30. 1. 26	1	平成30年度多治見市立小中学校教職員の人事異動方針を定めるについて	教育推進課
		2	平成30年度多治見市立幼稚園教職員の人事異動方針を定めるについて	子ども支援課
		1	学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	教育推進課
2	H30. 2. 14	3	多治見市職員退職手当に関する条例の一部を改正するについて	人事課
		4	平成29年度多治見市一般会計補正予算（第7号）のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
		5	平成30年度多治見市一般会計予算のうち教育に関する事務に係る部分について	教育総務課
		6	和解及び損害賠償の額を定めるについて	教育総務課
3	H30. 3. 6	7	平成30年度幼児教育指導の方針と重点を定めるについて	教育研究所
		8	平成30年度小・中学校教育の方針と重点を定めるについて	教育研究所
		9	平成30年度多治見市立小・中学校教職員の人事異動内申について	教育推進課
4	H30. 3. 27	10	多治見市たじっこクラブの実施に関する条例施行規則の一部を改正するについて	教育推進課
		11	多治見市教育機関の使用料減免取扱規則の一部を改正するについて	教育総務課
		12	多治見市立小中学校管理規則の一部を改正するについて	教育推進課
		13	多治見市立幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正するについて	子ども支援課

回	開催年月日	報	議	件 名	所管課
4	H30. 3. 27		14	多治見市奨学資金の給費規則による平成30年度選奨生の決定について	教育総務課
			15	多治見市高等学校等入学準備資金給付規則による平成30年度の給付者の決定について	教育総務課
			16	調理場整備計画の改訂及び学校給食基本方針の改正について	教育総務課
			17	多治見市教育委員会に属する県費負担教職員の訓告等取扱規程を定めるについて	教育総務課
			18	多治見市いじめ防止基本方針の改定について	教育相談室
			19	多治見市立小泉小学校建設検討委員会設置要綱を廃止するについて	教育総務課
		2		多治見市教職員の働き方改革プラン2018について	教育推進課
		3		多治見市青少年育成推進員（補欠委員）の委嘱について	教育推進課
			20	多治見市文化財審議会委員を委嘱するについて	文化財保護センター
			21	多治見市要保護及び準要保護児童生徒認定規則の一部を改正するについて	教育推進課
			22	教育基本計画の策定について	教育推進課



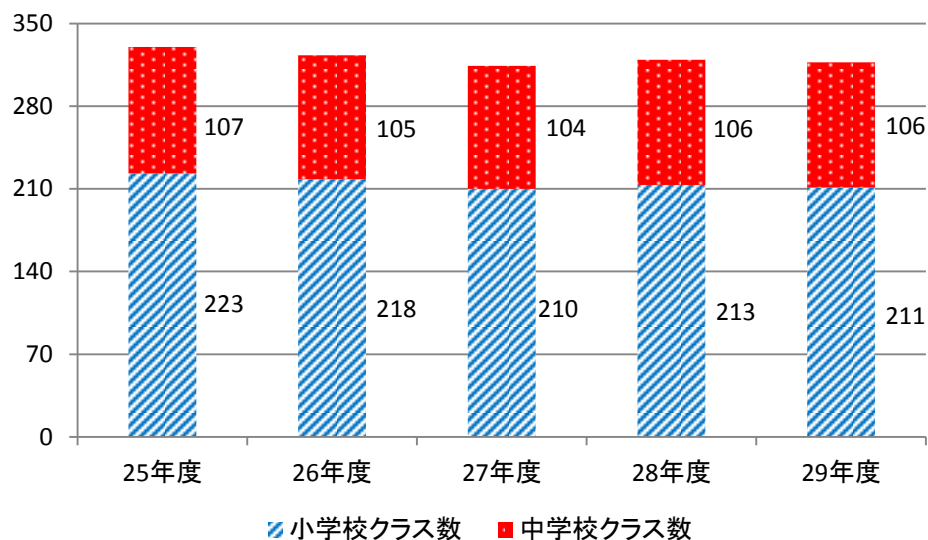
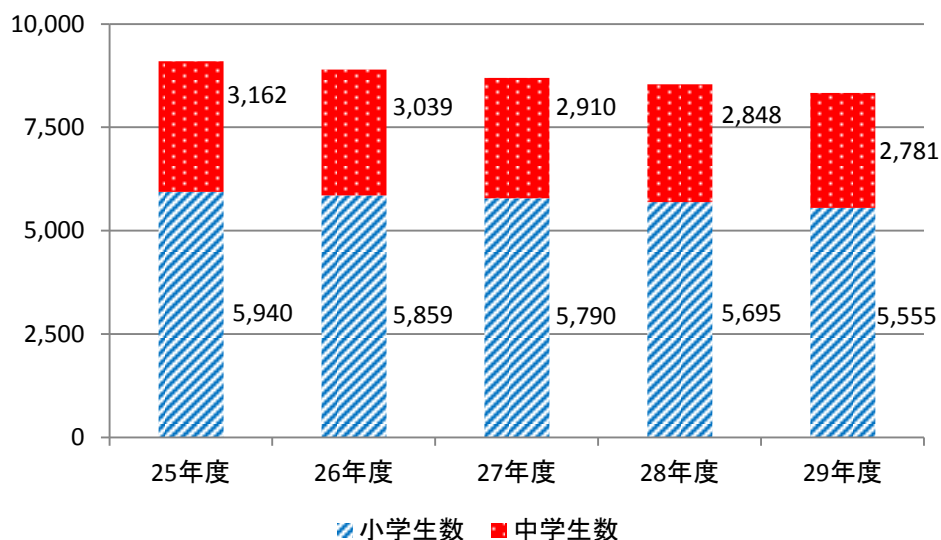
■ 第 2 章 多治見市教育基本計画＜後期計画＞のレビューについて

平成 25 年度から 29 年度までの 5 年間、多治見市教育委員会では多治見市教育基本計画＜後期計画＞を推進してきました。

事業については、昨年度の段階ですべて「予定通り」または「完了」という進捗状況にあり、順調な事業実施がなされています。そこで、今回は計画の最終年度ということもあり、4 つの基本施策に立ち返り、その実施内容や今後の事業展開について、担当各部署から回答を聴取しました。

今回のレビューを、次年度以降の第 2 次多治見市教育基本計画の実施事業に活かし、事業の連続性担保や課題の共有、業務改善につなげていきます。

表 1：後期計画期間中の児童生徒数及びクラス数の推移



(1) 基本施策『授業づくり』

「基本的な学習習慣・生活習慣の定着」については、「いきいき遊び（脳活）」について、幼児期から小学校低学年での実施が集団で一つのことに取り組んだり、座って話を聞いたりするなど、基本的な学習習慣の形成に効果的との結論を得ており、成果を実感しています。一方で、取組みの形骸化や画一的な実施により、校長の学校運営の幅を狭めてしまう等、課題も明らかになりました。そこで、今後は子どもの発達段階に応じ実施に軽重をつけ、園・学校の特色ある活動として充実・発展させていきます。

教員研修については、教師塾セミナーや若手育成研修 U-6 では手ごたえがあったものの、ミドルリーダー育成の研修訪問については、対象を幅広に設定したため、狙った層への効果が限定的となり、研修者や学校により温度差がありました。ミドルリーダーの育成は喫緊の課題であり、事業の見直しを行います。

地域人財の活用制度である学習サポーター制度について、活用が進められている一方で、外部人財の登用に関する理解度の違い等により、学校によって実施状況に差があったことから、市教育委員会から他の学校での活用例等情報提供を進めていきます。

子どもの体力向上については、「いきいき運動遊び」「体力アッププラン」として運動習慣の向上プロジェクトを推進してきました。単なる体力向上でなく、意識に焦点を当て、朝の 15 分活動や昼休みでの時間確保等、楽しく体を動かすことで運動を習慣づける狙いが、小中学校の全国体力・運動能力、運動習慣等調査での成果につながっています。

読書習慣の定着については、学校が指定する「読み切り図書」の読破にむけ小中学校で目標を掲げ取り組んできました。小学校では高い読破率を保ちましたが、中学校では目標には及ばない結果となりました。読書のきっかけとしての取組みですが、読み切り図書の読破が目的化している面もあり、読書習慣の育成という本来の狙いに立ち返り、選書の手法や児童生徒の書評披露等様々な形で読書活動を盛り上げ、軌道修正する必要があります。また、小学校での読書に対する高い関心を中学校でも維持していく仕掛けづくりが必要です。

発達段階に応じた教育の充実については、グループ活動や委員会活動、飼育・栽培といった命を育む活動等で、他者との関わりを意図的に設定することにより、人と関わる力や、命をいつくしむ心を育てる教育を実施してきました。今後もこれらの事業を継続し、自己を主張しつつも他者を認め共に伸びようとする、自立と共生の意識を育んでいきます。

小学校の英語活動については、特区により、小学校 3・4 年生で英語に親しむ授業を年 18 時間実施してきました。概ね英語授業の 2 回に 1 回は ALT が授業に参加する体制で英語に親しむ教育を実施してきました。笠原小学校は文部科学省の研究校指定を 15 年間受け、全国の小学校外国語教育をリードしてきました。笠原小学校での英語教育を体験した教員が他校に異動しその成果を還元するなど、全市的にも好影響をもたらしています。昨年度実施の学習意識調査では、英語教育に対する保護者の期待は高く、学習指導要領の改訂で、英語教育は質量ともに比重が増す状況となります。ALT の増員等で質の担保を図り事業を推進します。

表 2：後期計画期間中の全国学力・学習状況調査で全国平均値を上回った学校数の推移

	小学校(全13校)					中学校(全8校)				
	国語A	国語B	算数A	算数B	計	国語A	国語B	数学A	数学B	計
平成25年度	7	9	10	5	31	8	8	8	8	32
平成26年度	4	7	5	5	21	5	5	7	7	24
平成27年度	4	5	8	7	24	6	7	5	5	23
平成28年度	5	7	8	7	27	4	5	5	6	20
平成29年度	7	8	3	6	24	5	5	5	5	20

※合計点では、平成 26 年度の小学校以外はすべて全国平均を上回る

表 3：後期計画期間中の全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均値を上回った競技種目数の推移

	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	計(34)
平成25年度	4	3	3	4	14
平成26年度	5	6	6	4	21
平成27年度	5	6	4	3	18
平成28年度	2	6	2	2	12
平成29年度	3	6	3	5	17

表 4：後期計画期間中の全国体力・運動能力、運動習慣等調査で合計点が全国平均値を上回った学年

	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
平成25年度				
平成26年度	○	○	○	
平成27年度	○	○		
平成28年度		○		
平成29年度		○		○

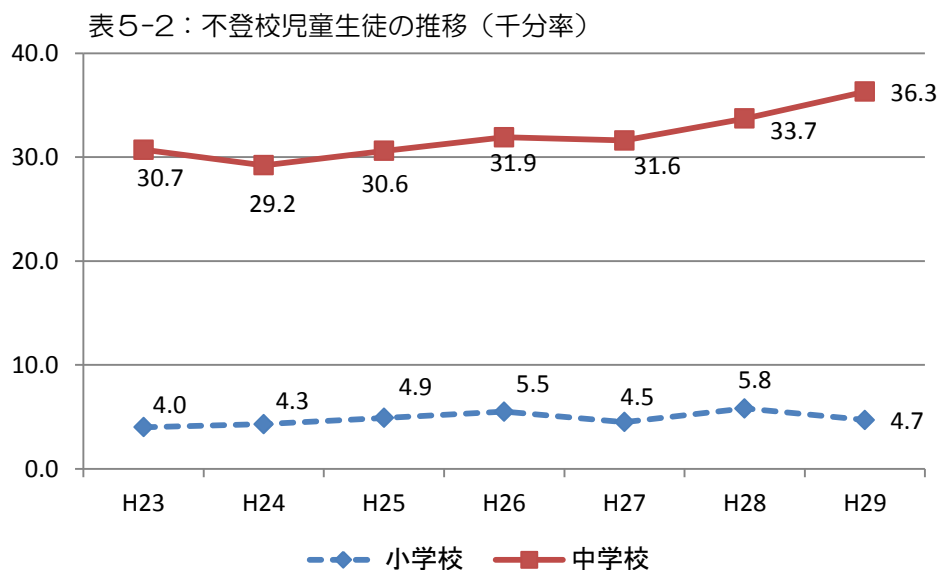
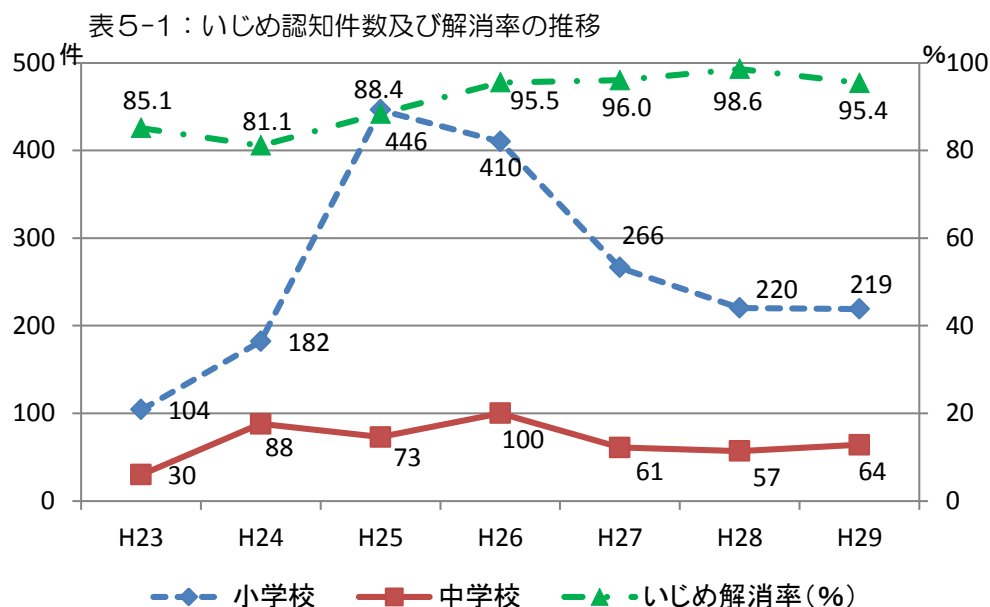
(2) 基本施策『教育環境づくり』

いじめ対策として、各学校年間 4 回以上アンケートを実施しました。早期発見や抑止に効果がありました。また、多治見市いじめ防止基本方針の策定及び改訂では、子どもの権利委員会と連携して事業実施しました。学級の態様をアンケートから数値化するハイパー

QU を年 2 回実施し、学級経営や個人指導に反映しました。こうした取組みを今後も継続し、いじめの未然防止及び早期発見、早期対応、早期解決を図る体制を堅持していきます。また、ハイパーQU のより効果的な活用を進めていきます。

不登校に関しては増加基調が続いていますが、はっきりとした理由の特定には至っていません。不登校を余儀なくされている児童生徒の過去の出席動向について追跡調査を行い、課題解決の糸口を探るほか、不登校にさせない取組みを学校・教育委員会の連携で進めます。

中学校での 30 人程度学級実施については、制度が定着しました。教員の目が行き届きやすく保護者からも評価を受けているほか、いじめ件数の減少等アンケートでも成果が確認できています。一方、様々な事情により市費非常勤講師の確保が難しいため、待遇の改善や市費非常勤講師ならではのメリットの PR 等で人材確保に努めます。



インクルーシブ教育については、タブレット端末を用いた支援の実施やユニバーサルデザインの授業づくりを推進してきました。また発達障がいのある子どもの個別の教育支援計画の作成率は上昇しています。さらに平成 29 年度には文部科学省の受託事業を受け、陶都中学校で特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業に取り組んでいます。今後は、授業に関して効果や活用方法の波及を目的に実践例の集約や共有を進めるほか、個別の教育支援計画を、授業や引継ぎ場面で活用し、切れ目のない支援ができるよう取り組みを進めます。プロフィールブックの所持を促進し、本人及び保護者が将来の社会的自立を見通すことができるよう支援します。

表 6：個別の教育支援計画作成率（保護者の合意形成あり、平成 29 年 3 月現在）

	特別支援学級 在籍児童生徒	通級指導教室 利用児童	通常学級在籍 児童生徒の中で 発達障がい等の 診断書所持者
小学校	100%	100%	71.1%
	(109/109人)	(89/89人)	(108/152人)
中学校	100%	－	63%
	(39/39人)	0	(58/92人)

中学校の部活・ジュニアクラブ活動については、ガイドラインを改訂し、指導者や保護者に周知を図ったほか、講習会を開催し、スポーツを楽しむ視点で子どもたちを指導できる指導者の資質向上を図りました。教職員の働き方改革の視点から全国的に注目された多治見市のジュニアクラブ活動ですが、過度な部活動からの脱却、週休 2 日制での生徒な健全やかな成長の場の提供といった、土日の子どもの部活だけで縛らないように、という導入本来の目的に立脚し、今後も保護者、学校、市の連携を大切に、活動の趣旨を周知していきます。

日本語理解への支援が必要な外国人の子どもに対して、可児市国際交流協会に、相談員・支援員派遣を委託し、面談等で子どもや保護者のことばの障壁を解決することができました。本人の適応と学校の負担軽減に大きな効果があり、今後も継続していきます。

表 7：多治見市の外国籍児童生徒数（平成 30 年 3 月現在）

	小学校							中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計
外国籍 児童生徒数	8	5	9	8	2	7	39	5	5	9	19
うち日本語指導 必要児童生徒数	1	2	3	1	0	1	8	1	2	0	3

表 8：国籍別児童生徒数（平成 30 年 3 月現在）

	ブラジル	中国	フィリピン	ペルー	その他
外国籍 児童生徒数	10	4	13	3	28
うち日本語指導 必要児童生徒数	4	0	4	0	3

※その他は韓国 2 人、ネパール 1 人

※ほかに日本国籍（帰国子女）で支援をしている児童が 3 人（タガログ語、英語、中国語）

ICT 教育の推進については、教育用ソフトウェアの導入や全小学校への電子黒板の整備等を実施しました。今後も Wi-Fi 環境の整備や、タブレット型パソコンの配置促進等、実施計画に基づき計画的に整備を進めます。

（３） 基本施策『家庭の教育力の向上』

親子の良好な関係づくりについては、「親育ち 4・3・6・3 たじみプラン」に基づき、駅北庁舎 3 階フロアを中心に各課が連携し、各種情報提供やイクメンセミナー等の支援事業を実施してきました。保護者の意識には差があり、意義の周知と参加率の向上が課題です。課題解決のために、保健センター等関連課と連携し、ピンポイントで声掛けを行うなど事業の継続実施や継続的な情報提供を続けていきます。

犯罪や事故から子どもを守る約束づくりの家庭への働きかけについては、インターネットやスマートフォンに関する注意喚起や不審者情報の提供により、犯罪や事故に対し家族で考える場面づくりを行いました。今後も約束づくりにつながる、家庭への情報提供や啓発活動を継続します。



イクメンセミナーの様子

家族が一緒になって行う活動の充実については、親子で参加できる体験講座の実施や、NO テレビ NO ゲームの日の設定及び実施を行いました。市内への拡充と継続実施が課題です。

食育の促進については、各部署とも様々な体験講座やアンケート等を実施しました。市、栄養士連絡協議会及び市 PTA 連合会と連携し、家庭における食育に対する意識の向上を図ります。

(4) 基本施策『教育における協働』

習慣向上プロジェクトたじみプラン、子どもの健康・体力づくりたじみプラン、インクルーシブ教育の推進について、年度当初に転入及び管理職教職員に説明を行っていますが、付随する事業が多岐にわたり、成果の検証が困難になっています。委員会の統合や研修会の縮減、施策の実施効果の検証を行い、質の維持に努めます。

幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携については、「いきいき遊び」や「いきいき運動遊び」を通じた幼稚園・保育園間の交流や幼稚園・保育園・小学校の交流が活発になってきており、スタートカリキュラムの作成や個々の子どもの情報共有に役立っています。

幼稚園・保育園・小学校・中学校による各中学校区の懇談会を年2回開催しています。内容については改善の余地があるものの、幼稚園・保育園・小学校・中学校の長が一堂に会し懇談する機会は有意義と評価されています。今後は十分な議論ができる時間の確保やテーマの設定等内容を高めていきます。

一貫教育の推進では、笠原地区で英語教育による幼稚園・保育園・小学校・中学校の一貫教育を推進しています。また、南姫地区では小中学校に地域を含めた形で運動会を開催するなど、独自の取組みが展開されています。他地域で同様の取組みが可能か、といった課題を検証しながら今後も事業を進めていきます。



地域ぐるみの安全の確保について、小学校、PTA、警察、道路管理者等が、通学路安全推進協議会を組織しています。毎年一緒に通学路の危険箇所調査を実施し、担当部署が修繕や改修を実施しています。合同で調査するため担当部署も明確で素早い対応が可能です。今後もこの枠組みを堅持し対応を行います。また、登下校時の見守りについて、地域の方の見守りはもとより、防犯パトロール車の貸出、スクールガードリーダーによる登下校時のパトロール等、重層的な対応を行っています。青少年まちづくり市民会議による挨拶運動とも連携し、充実した活動が展開されています。

表9：通学路危険箇所の点検件数

平成24～26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
114	21	15	37

地域の事業者や NPO 等の協力による学習の充実については、土曜学習講座や小学校での社会見学等で協力をいただいています。特に土曜学習講座ではロータリークラブやタイルメーカー等地域人財や事業者の全面支援のもと、充実した内容の講座を開設し、参加者の抽選が必要なほどの人気となりました。今後も新たな事業者や NPO 等を開拓し、より幅広い体験活動が展開できるよう事業を進めます。

表 10：平成 29 年度 土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」開催状況

	開催日	テーマ	活動内容	講師、協力団体等	参加者数
1	5月20日	虎渓山永保寺を学ぶ	永保寺での座禅体験や国宝や名勝にふれる中で、700年にもおよぶ虎渓山永保寺の歴史や文化を体験し、児童・生徒の「ふるさと多治見」への愛着や誇りを深める。	虎渓山永保寺	85
2	6月17日	美濃焼名人になろう 2017	須恵器や桃志野、織部、黄瀬戸などの桃山陶に触れたり、美濃を代表する陶芸作家の作品を見たりして、美濃焼についての知識を深め、ろくろを使った作陶や美濃焼の器でお茶を飲んだりする体験を通して、美濃焼文化のよさを味わう。	多治見市美濃焼ミュージアム 多治見市陶磁器意匠研究所	46
3	7月15日	タイル博士になろう 2017	タイル工場やモザイクタイルミュージアム見学、モザイクタイル貼り加工体験を通し、全国シェアタイル60パーセントを誇る多治見市の主要産業についての理解を深め、ふるさと多治見への愛着と誇りを高める。	モザイクタイルミュージアム カネキ製陶所 多治見観光ボランティアガイド	83
4	9月30日	見て、聴いて、描いてふれる 多治見修道院	院内を見学したり、大聖堂にあるパイプオルガンの演奏を聞いたり、バロック建築の建物を写生したりして、昭和初期に建てられた「多治見修道院」の魅力に触れ、「ふるさと多治見」への愛着を深める。	福音会多治見修道院 カトリック名古屋教区多治見教会	75
5	10月21日	美濃焼名人になろう 2017 II	須恵器や桃志野、織部、黄瀬戸などの桃山陶に触れたり、美濃を代表する陶芸作家の作品を見たり、電動ろくろを使った作陶を体験したりして美濃焼についての知識を深め、美濃焼文化のよさを味わう。	多治見市美濃焼ミュージアム 多治見市陶磁器意匠研究所	46
6	11月25日	多治見ふるさとしごと塾	多治見の第一線で活躍しておられる方々から自身の仕事や郷土への思いなどについて聞いたり、携わっておられる仕事を体験させてもらったりしながら、「ふるさと多治見」への愛着を深め、夢と希望をもって生きる心を育む。	多治見ロータリークラブ 東濃信用金庫 シンガーソングライター 佐藤梓 氏	169
7	12月16日	チャレンジスポーツ	地元多治見でスポーツの振興に取り組んでおられるスポーツ推進委員の方々から話を聞いたり、新たなスポーツを教えてもらったりすることを通して運動することの楽しさを味わい、スポーツへの意欲を高める。	多治見市文化スポーツ課 多治見市スポーツ推進員	87
8	1月27日	多治見子ども議会	多治見市議会についての説明や見学、実際に議員席から市の各部長に質問をしたりするなどの議会体験を通して、よりよい町にするための多治見市議会の働きを学ぶ。また、多治見を住みやすいまちにしようとする市役所や市議会に関わる方々の思いに触れる。	多治見市議会 多治見市役所	23
9	2月17日	科学に挑戦 —多治見の理科名人に学ぶ—	地元の専門家から科学の話を聞いたり、簡単な実験を教えていただいたりすることで、科学を身近に感じ関心をもつとともに、ふるさと多治見に誇りをもち、将来への夢をふくらませる。	元中学校長 深谷滋浩氏 他 10 名	113
参加者数計…					727

※申込者数は 1,217 人。全 9 回中 7 回で抽選を行いました。